

誰もが安心して暮らせるまちへ 「認知症初期集中支援チーム」を開始

☎ 高齢福祉課 早瀬 TEL 23-5821

なぜ『認知症初期集中支援チーム』が必要なのか

認知症は、誰にでも起こりうる身近な病気となっていますが、認知症は早期に診断し対応することで、進行を遅らせることができる場合があります。このため、4月から、複数の専門職(専門医と看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員など)による「認知症初期集中支援チーム」を結成し、活動を開始します。



認知症「早めの対応」の3つのメリット

- 1 早期治療で改善も期待できる**
早期に発見し早期に治療を開始することで、改善が期待できるものもあります。
- 2 進行を遅らせることができる場合があります**
認知症の症状が悪化する前の適切な治療やサポートによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。
- 3 事前の準備ができる**
症状が軽いうちに家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できるサービスを調べたり認知症に向き合うための準備ができます。

認知症初期集中支援チームは何をするの？

認知症の方やその家族から依頼を受けると、チーム員が自宅を訪問し認知症の程度の把握や情報提供などを行います。その後、チーム会議を開催し、必要な医療や介護サービスなど支援の方向性を検討し、各関係機関と連携して必要な支援を行います。悩みごとがあれば、まずは各地域の地域包括支援センターに相談してみましょう。



- ・もしかして認知症かも？心配だけどどうしたらよいかわからない…
- ・病院へ行こうと勧めても嫌がっていかない…
- ・認知症の症状が強く介護や対応に困っている…

地域包括支援センター

小学校区	センター名	所在地	TEL
昭和・池田・脇之島	太平地域包括支援センター	太平町2-39-1	25-1135
根本・南姫	南姫地域包括支援センター	大針町字台80-2	20-2021
養正・滝呂	滝呂地域包括支援センター	滝呂町10-87-4	24-5562
市之倉・笠原	笠原地域包括支援センター	笠原町2900-6	45-0007
精華・共栄	精華地域包括支援センター	十九田町1-10	25-2511
小泉・北栄	北栄地域包括支援センター	旭ヶ丘7-15-1	27-2211

「生活支援コーディネーター」を4月1日から配置

高齢者が住み慣れた地域で、安全・安心に暮らせる体制を整備するために、市全域を担う「生活支援コーディネーター」を配置します。 ※順次、各地域への配置も進めていきます

■ 地域に出向いて、さまざまな手助けを行います

- ・生活上の悩みごとを聞き、解決方法を地域の方と一緒に考え、改善します
- ・高齢者の社会参加や生きがいづくりに協力し、地域の支え合い体制を強化します
- ・生活支援の担い手を養成する講座の開催や支援を必要とする方とサービス提供者とのマッチング支援を行います

